

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 16日

山梨県知事

長崎 幸太郎 殿

提出者

住 所 山梨県西八代郡市川三郷町
大塚700番地

氏 名 株式会社東日本イノアック
代表取締役 鈴木伸明

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 055-272-2111

山梨県生活環境の保全に関する条例第62条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

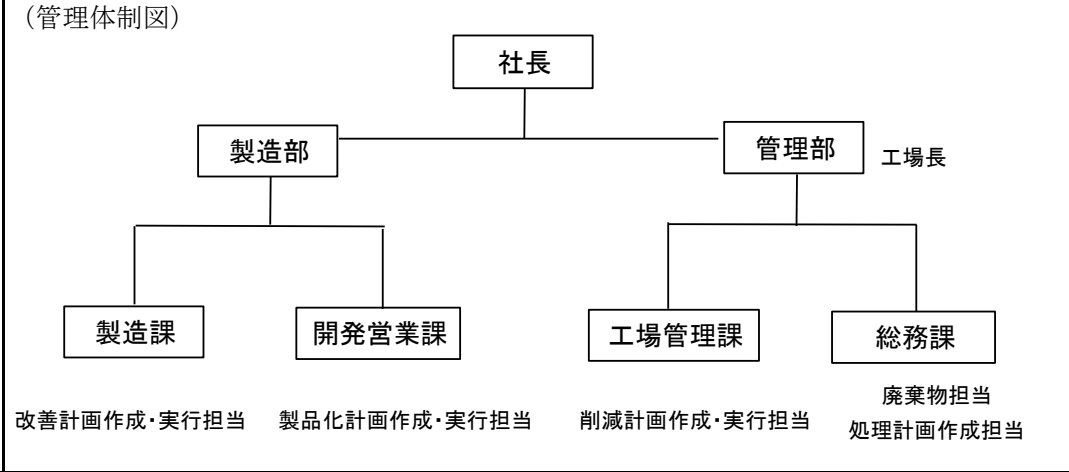
事業場の名称	株式会社東日本イノアック
事業場の所在地	山梨県西八代郡市川三郷町大塚700番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	製品出荷額 20億円
③ 従業員数	51人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・廃プラスチック類 再生処理業者へ委託→固形燃料(RPF)化 一部、処理業者へ委託（埋め立て）・廃液・廃油 処理業者へ委託（焼却）・木屑 再生処理業者へ委託→木材チップ化・蛍光灯 処理業者へ委託（破碎）・汚泥 処理業者へ委託（造粒固化）

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

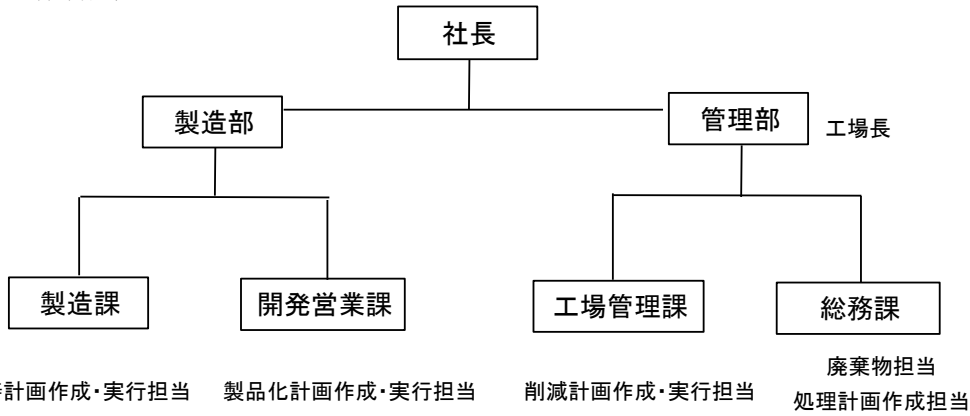
①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	排出量	493.83 t	28.276 t	0.6 t	9.23 t
	(これまでに実施した取組) 生産工程の不良率を低減し、廃棄物の削減を図っている。 廃プラを社内で再利用し製品化を図っている。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	排出量	451 t	26 t	0.5 t	8 t
	(今後実施する予定の取組) 生産工程の更なる改善を図り、不良率を低減し、廃棄物の発生を抑える。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 蛍光灯は一般のガラスと分別して、混ざらないように保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続していく

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R4 年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	ガラス屑			
	排出量	0.008 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 生産工程の不良率を低減し、廃棄物の削減を図っている。 廃プラを社内で再利用し製品化を図っている。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス屑			
	排出量	0.007 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 生産工程の更なる改善を図り、不良率を低減し、廃棄物の発生を抑える。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 蛍光灯は一般のガラスと分別して、混ざらないように保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	12.48 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社施設で、PEフォームを粉砕し、チップ材料として利用できるかトライ中。PU品は使える残りカスはカットし、アウトレット品として、ノベルティ用として使用。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	13.8 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も上記取組の再生利用量を増やしていく。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	全処理委託量	481.345 t	28.276 t	0.6 t	9.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	353.71 t	22.876 t	0.6 t	9.23 t
	再生利用業者への処理委託量	127.635 t	5.4 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> ・再生利用可能なものは、極力、再生利用業者へ委託している。 ・マニフェストによる最終処分の確認を徹底するとともに、毎年、現地確認を行い、処理業者に問題がなく、適正処理されていることを確認している。 					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_	ガラス屑			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	ガラス屑			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_	ガラス屑			
	全処理委託量_	0.008 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.008 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用可能なものは、極力、再生利用業者へ委託している。 ・マニフェストによる最終処分の確認を徹底するとともに、毎年、現地確認を行い、処理業者に問題がなく、適正処理されていることを確認している。 				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃液	がれき類	木くず
	全処理委託量	437.2 t	26 t	0.5 t	8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	328.2 t	21 t	0 t	8 t
	再生利用業者への 処理委託量	109 t	5 t	0.5 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 可能な限り優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。 • 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 					
※事務処理欄					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	ガラス屑			
	全処理委託量_	0.007 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.007 t	t	t	t
	認定熱回収業者へ の 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における

元請

完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に

応じ

事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了す

るま

での一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

と。

4

自ら中

間中

間

と。

「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら

間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら

間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入するこ

と。

5

託量

施行

回収

であ

る処

理業

者へ

の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6

のと

おり

の

種類

の

記入

すべ

き

き

は、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。